

埼玉県議会議員



岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2017年 夏号

岡地まさる県政事務所
桶川事務所
桶川市上日出谷42-73
TEL.048(780)2982
FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会6月定例会

**補正予算／
2億5,281万1千円**

虐待禁止条例を採択し閉会

県議会6月定例会は、自民党県議団が提案した「埼玉県虐待禁止条例」をはじめ、一般会計補正予算2億5,281万1千円(補正後累計:1兆8,646億7,981万1千円)、「東京2020オリンピック・パラリン

補正予算の主な内容

●地方創生拠点整備交付金の活用

秩父高原牧場の交流施設整備 9,986万3千円
カエデ、少花粉スギ等の種苗研究体制の強化 4,920万3千円

●地方創生推進交付金の活用

大企業との連携等による中小企業のプロフェッショナル人材活用の支援 2,000万円

●病害虫による農作物の生育被防止

農薬による早期防除の徹底、残渣焼却へ補助 8,374万5千円

県虐待禁止条例、 来年4月施行へ

虐待は多くが家庭や施設内など閉鎖的空間で行われているため、周囲が気付きにくく深刻化するケースが多くあります。虐待防止三法によって規制していますが、県内の虐待件数は増加傾向にあるのが実情です。

私たちは、虐待をなくすためには、虐待禁止に対する認識を県民全体で共有する必要があり、そのためには県の強い姿勢が必要だと考えました。昨年からプロジェクトチームを立ち上げ、関係機関・団体などから意見を聞き、調査・検討を重ね、今議会での提案となりました。同条例は全会一致で採択され、来年4月から施行されます。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に係る経費の負担に関する決議

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた関係自治体等連絡協議会が5月31日に開催され、同競技大会に係る役割分担及び経費分担の基本的な方向に関し、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(以下「大会組織委員会」という。)、東京都、国及び競技会場が所在する関係自治体の四者が合意に至った。

その合意文書によれば、大会関係経費5,500億円のうち、大会組織委員会は350億円程度は、関係自治体の会、東京都及び国に割り振られていない。業務内容及び会場周辺における輸送、セキュリティ等に係る経費であり、業務内容及び経費を含めて、立候補ファイルを基本として、今後、整理・精査を行っていくこととされた。

そもそも、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市は東京都であり、本県は同競技大会の競技会場が所在する関係自治体として協力する立場にあるにどまる。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会が国際オリンピック委員会に提出した立候補ファイルによれば、その開催に係る経費は大会組織委員会、東京都及び国が負担することとされている。

費用は大会組織委員会、東京都及び国が負担することとされている。したがって、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に係る経費は、大会組織委員会及び国並びに開催都市である東京都が全額負担すべきものであり、本県が負担する理由はない。さらに、東京都の自治事務となる開催に係る経費を本県が負担することは地方財政法上の疑義があるため、認めることができない。

以上、決議する。

平成29年6月19日
埼玉県議会

自民党
県議団が
独自提案



第8回 世界盆栽大会を 観察

「第8回世界盆栽大会inさいたま」が新都心さいたまスーパーアリーナを会場に4月28日から30日まで開催されました。29日に訪れたところ、海外からの参加者もたくさんいましたが、日本の若い方も見学に訪れていて驚かされました。



市長に信号機設置を 要望

桶川市坂田の桶川加納IC近くの市道交差点で、市内循環バスとダンプカーが衝突し、ダンプカーが民家に突っ込む事故がありました。

ICを降りてすぐ、住宅街の中の信号機のない交差点で事故が起きたことから、地元の相馬正人市議(右から1人目)、中又清美市議(右から2人目)とともに、小野克典桶川市長に信号機の早期設置を要望しました(3月17日)。



お買い物は地元の商店で!

視察**環境農林委員会視察**

6月6日、7日、8日の3日間、環境農林委員会視察で石川県、滋賀県の先進事例を視察して参りました。

石川県農林総合研究センター

石川県農林総合研究センターでは、稲の種子を直接水田に播種し、育苗や移植の過程を省略する技術開発を民間企業と共同で進めています。低コスト化・省力化が期待されます。



◀写真はブルドーザーによる種まき機の画像です。

ヤンマーミュージアム&ヤンマー中央研究所

滋賀県のヤンマーミュージアムを見学した後、ヤンマー中央研究所を訪問。同研究所が北海道大学と共に進めている、GPSを利用し無人で走行するロボットトラクターの実証実験について伺いました。

若者の就農率の低下、高齢化といった問題を取り組んでいるということでした。

**勇往邁進、日々全力****視察****議会運営委員会視察**

議会運営委員会は5月10日から12日の3日間、福岡県、大分県のさまざまな取り組みについて視察して参りました。

安川電機ロボット村

視察初日は産業の振興や技術継承に関する取り組みについて視察しました。

(株)安川電機ロボット村では、毎月3,000台の工業用ロボットを生産。ロボットがロボットを作っている、世界一の会社です。でも「人間に教わらないと作ることができない」という説明が印象的でした。

**福岡・大分県議会**

視察2日目は福岡県議会と大分県議会を視察して参りました。

再質問、再再質問場所が議員席側に設けられている議場を見学。質問のやり方も一括質問か、一問一答方式か自分で選べるなど、さまざまな工夫がありました。

**大分銀行ドーム**

大分銀行ドームは「2019ラグビーワールドカップ」が熊谷市と共に開催されます。グラウンドが地下2階部分にあるため、芝の育成に苦労しているとの事でした。

コ・ラ・ム

熱中症のニュースを耳にするようになりました。今年の夏、7月は全国的に気温が高めで8月は猛暑、9月は残暑が厳しいという予報ですが、暑さに慣れない7月下旬までが熱中症のピークです。感じ方は人それぞれでしょうが真面目さゆえの我慢と節約により発症してしまった方も少なくないはずです。夏が暑いのは仕方ないので工夫するしかありません。3度の食事と睡眠の確保も大切ですが、ゆったりとした服装や水分補給の意識づけ、また、日頃から軽い運動を心がけ体を慣らしておくこともリスク回避の一助となります。県の呼びかけにより薬局などで店舗の一部を休憩スペースとしてご提供いただけますので、外出時にご利用されてはいかがでしょうか。

ライオンズカップ少年サッカー大会

4月29日「桶川ライオンズカップ少年サッカー大会」が城山公園に於いて開催されました。

近隣市のチームも参加し、遠くは前橋市からも参加がありました。桶川ライオンズクラブは、創立40周年を迎えるそうです。

**岡地まさる 県政事務所****ふれあいフェスタ**

5月7日、西口公園・響きの森を会場に「桶川市ふれあいフェスタ」が開催されました。

多くの方が参加し、楽しい一日を過ごされました。



〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

滋賀県琵琶湖博物館

滋賀県琵琶湖博物館では、琵琶湖の開発と保全、再生ということで現状と取り組みについて視察しました。外来魚が増えている実態や、漁業や生態系への影響なども伺うことができました。



▲写真は体長1メートルのナマズの模型です。

JT生命誌研究館視察

JT生命誌研究館では、生命誌研究の第一人者である中村桂子館長からお話を伺うことができました。

全ての生き物はDNA(ゲノム)として、それぞれの体内に38億年の歴史を持っており、その歴史を読み解くことから生命・人間・自然を知り、新しい知を生み出し、生命を大切にする社会を創っていく活動を展開されています。

写真はJT生命誌研究館 中村桂子館長。

**県議団2期(秋田・青森) 視察**

県議会議員団の2期生15人で、秋田県・青森県の特徴的な取り組みについて視察して参りました。

国際教養大学

秋田市にある国際教養大学ではグローバル人材の教育について視察しました。森の中にある大学で木が多く、ゆっくり作られておりました。また木材がふんだんに使われた図書館はたいへん居心地が良く、見やすい作りになっていました。

**秋田県北木材センター**

秋田県北木材センターは秋田杉の産地市場として、製材、乾燥、大型のカンナ、配送とすべて揃っている工場でした。

**たびすけ合同会社**

視察最終日はたびすけ合同会社代表の西谷雷佐氏から、弘前及び東北の観光、誘客、企画方法などについてレクチャーを受けた後、西谷氏のご案内で、JR弘前駅前の商店街「虹のマート」や「市営りんご公園」「弘前シードル工房kimori」などを見て回りました。

